

歌壇

鈴木 芳明 選

特選

由比の海雲間の光に輝きて舟ひとつ抱く菩薩のごとく

千駄木 伊藤 惠津子

新年の空を翔け抜くペガサスの雲に出会って佳き年祈る

水道 菅井 茂子

鼠坂登りて下る鷺坂と江戸の名残りの音羽小日向

小日向 内野 仙也

入選

ほのぼのと明けゆく空をおろがめば老いの独り居清しくもあり

千 石 小出 風沙子

父母は良き聴き手黙して語らず大樹のごとき墓石はおきに水うつ

千 石 菊地 正矩

二年振りの風邪ようやくやくに治りきてまず図書館へ道を楽しむ

向 丘 高野 伸子

木綿糸にて毛布の襟を縫ひつける母のまねして糊をきかせて

本駒込 唐木 よし子

見てごらん月が一緒に歩いてる我が懐で子供指さす

関 口 中川 良二

ライン越し脳裏に沸きたつ蜃気楼カイロの喧騒砂漠の景色

大 塚 江崎 千絵

見上げれば冬の春日に霞無し地下鉄走る銀河煌めく

春 日 中野 成将

平成30年度 第4回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

難病の友へ吹き込む読始よみはじめ

千石 菊地 正矩

砂を搔く猫に起こされ寒満月かんまんげつ

小日向 内野 仙也

初日記書かねば消ゆる老いの日々

千石 大石 坦

入選

去年今年こぞことしフオツサマガナの微動かな

向丘 丸岡 正兎

ハロウインの南瓜流るる神田川

向丘 高野 伸子

品格の退位を惜しむ参賀かな

春日 二村 吉光

手袋や書庫に明るき遺失物

向丘 片岡 マサ

神官の訛なつかし煤払

小石川 中野 千鶴子

冬晴れのスカイツリーよ昼満月

西片 中島 多津子

風音を靴に聞かせて冬の庭

千石 片山 幸則